

特別活動(学級活動)学習指導案

日 時:平成16年9月3日(金)
 場 所:1年A組 教室
 学 級:1年A組(男子18名、女子17名、計35名)
 授業者:門下俊徳

1 題材名 『身近に働く人々を訪ねて』

2 題材設定の理由

(1) 題材について

中学校の進路学習において、将来の職業を選択する上での知識や能力を身に付けることは大変重要なことである。生徒は、ある程度自分の将来や夢について関心をもち、将来就こうとする職業についても漠然とした考えをもつようになってきている。しかし、将来の自分が就きたい職業について深く考えている生徒は少ない。また、現在の進路希望調査のほとんどは、中学校卒業時における進路選択に関わる人が多いことに加えて、自分の身近な人々(親、兄弟等)が働いている姿をみる機会がほとんどないため、生徒の将来の職業選択についての意識は希薄であり、職業の種類や内容についての理解も乏しい。

そこで、生徒一人ひとりが家族や身近な人々から職業についての聞き取り調査を行い、職業について関心を持たせるとともに、生徒が聞き取り調査をした内容についての「発表会」を通して職業について知るとともに、職業を決めるために必要な条件についても考えさせたい。

最終的には、身近に働く人々の仕事を通して、働くことの喜びや苦労について触れさせ、正しい職業観を形成していけるよう、職業の社会的意義について理解させたい。また、働く人々の生活体験から中学時代に培っておくべきことについても考えさせたい。

(2) 生徒の実態

学級の雰囲気としては、男子の生徒は明るく、どちらかといえばまだ幼さが残っている生徒が多いのに対して、女子の生徒は物静かで、自分から積極的に発言する生徒は少ない。授業においては、積極的に挙手して発言をする生徒は男女とも少ないが、自分なりの考えや意見は持っている。したがって、現在は生徒が発言する機会を教師の指名を中心に構成している。また、発表の仕方や意思の伝達方法などについては、継続して指導しているところである。

以下の表は、7月に行った進路希望調査の結果明らかになった、生徒たちが持っている職業に対する興味・関心の様子と将来希望している職種と適性の一覧である。

職業に対する興味・関心の様子

分野		機械	文芸・芸術	奉仕	事務	運動	サービス
興味・関心	高い	12人	7人	17人	12人	8人	13人
	ある	11人	19人	9人	14人	14人	9人
	普通	12人	9人	9人	9人	13人	13人

将来やってみたい仕事と適性

分野		技術 技能	自然	芸術 マスコミ	奉仕	事務	運動	販売 サービス
希望人数		6人	2人	3人	6人	2人	9人	7人
適性	高い	2人	0人	1人	4人	0人	0人	0人
	ある	4人	0人	2人	2人	2人	6人	6人
	普通	0人	2人	0人	0人	0人	3人	1人

上記の結果から、生徒の職業に対する興味・関心の高い分野は、「奉仕」が最も高く、以下、「サービス」、「機械」、「事務」、「運動」、「文芸・芸術」の順となっている。また、生徒が将来就きたい職業については、全ての生徒が何らかの希望を持っている。分野でみると「運動」が最も希望人数が多い。この理由としては、将来の職業について、「自己理解」や「正しい職業観」に基づいた希望ではなく、まだ漠然と自分の夢を思い描いている段階の生徒が多いためと考えられる。その他の分野を希望している生徒の理由も漠然としたものが多く、これからの進路指導を通して意識を高めていく必要がある。

3 指導目標

- (1) 身近な人々から職業について調べることで、職業に対する興味・関心を高めさせる。
- (2) 自分達で調べた資料を使って、職業の種類、特色、職業選択の条件等について理解させる。
- (3) 班での話し合い活動を通して、リーダーの育成を図るとともに、積極的に発言する態度を身に付けさせる。

4 指導計画

- (1) 「働く人々インタビュー」についてのオリエンテーション……1時間
- (2) 「働く人々インタビュー」を通しての感想(作文)……1時間
- (3) 感想の輪読と班の代表決定(各班ごと)……1時間
- (4) 職業を決めるための条件……2時間(本時1 / 2)

5 本時の目標

- (1) 職業を選択するために必要な条件についての関心をもたせ、課題に対して意欲的に発表させる。
- (2) 「働く人々インタビュー」や進路希望調査を資料として、職業を選択するために必要な条件について考えさせる。

6 本時の指導

評価の観点・方法の表記について

方: 評価方法

関: 関心・意欲・態度 思: 思考・判断 技: 技能・表現 知: 知識・理解

段階		教師の活動	生徒の活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
導入 10分	課題をつかむ	1 働く人インタビューについての感想を、代表に発表させる。	1 代表が感想を発表する。	発表の態度については、事前に指導する。	方 指名による発表(1~2名程度) 関 自信をもって発表できたか。
		2 本時の課題を提示する。	2 本時の課題を把握する。	職業への興味・関心を引くような提示をする	方 一斉チェック 関 課題をつかもうとしているか。
探ってみよう! 人気の理由 ランキング上位の職業について					
展開 30分	みんななで考え	3 働く人インタビューと進路希望調査の中で、最も多かった上位3つの職種が何か予想させる。	3 それぞれの調査で、最も多かった上位3つの職種を予想して発表する。	ランキング発表のようなゲーム形式で発表させる。	方 挙手によるチェック 関 ゲーム形式の質問に、意欲的に発言しているか。
		4 進路希望調査で上位3つにランクされた職業について、上位になった理由を考えさせる	4 進路希望調査で上位3つにランクされた職業について、上位になった理由を考える	働く人インタビューの結果については触れない。	方 指名による発表(6名程度) 関 最後まではっきりと発表しているか。
30分	自分のものとする	5 働く人インタビューや進路希望調査で、上位にランクされた職種の中から自分の興味がある職業を選択させ、その職業を選んだ理由を考えさせる	5 自分の興味がある職業を選択し、選んだ理由を発表する。	選択した職業と選んだ理由をしっかり発表させる。 それぞれの調査で上位にランクされていない職業についても選択を認める。 発表された理由の中で、討論ができれば比較させ、考えを深めさせる。	方 机間巡視によるチェック 方 指名による発表(4~6名程度) 関 自分の考えを発表しているか。 思 自分自身の考えをまとめているか。
		6 職業を選ぶために必要な条件を考え、発表させる。	6 職業を選ぶために必要な条件を考え、発表する。	発表された職業選択の理由も参考にさせながら、自分なりの職業観を基準にして考えさせる	方 机間巡視によるチェック 方 指名による発表(4名程度) 思 自分の観点で考えることができたか。
終末 10分	自分のものとする	7 本時の授業の感想をまとめさせる	7 本時の授業の感想をまとめる	まとめることができない生徒に対して、具体的な観点を与えて支援する。	方 机間巡視によるチェック 思 本時の授業の内容をふまえてまとめているか

7 本時の評価

本時の授業の観点	本時の授業の評価規準
関心・意欲・態度	職業選択に必要な条件の話し合いで、意欲的に発表できたか。
思考・判断	働く人インタビューや進路希望調査を資料として、職業を選択するために必要な条件について考えることができたか。

今日の学習課題

探ってみよう！ 人気の理由
ランキング上位の職業について

身近に働く人々インタビューで 調べた職業ベスト3ヒント

芸術・マスコミ関係 自然科学関係
福祉関係 事務関係 サービス業関係
スポーツ関係 機械・電機・製造関係

身近に働く人々インタビューで
みんなが調べた職業ベスト3

第3位 福祉関係

第2位 機械・電気・製造業関係

第1位 サービス業関係

進路希望調査職業ベスト3ヒント

運動・スポーツ関係

事務関係

福祉・奉仕関係

芸術・マスコミ関係

販売・サービス関係

自然科学関係

機械・電気関係

進路希望調査でみんなが 将来やってみたい職業ベスト3

第3位 機械・電気(技術・技能)関係
福祉・奉仕関係

第2位 販売・サービス関係

第1位 スポーツ関係

ベスト3に上がった分野の 具体的な職業の例

機械・電気(技術・技能)関係の例

- ・エンジニア
- ・機械設計
- ・溶接、プレス工
- ・整備士
- ・運転手
- ・カメラマン
- など

福祉・奉仕関係の例

- ・看護師
- ・福祉介護士
- ・保育士
- など

スポーツ関係の例

- ・プロスポーツ選手
- ・スポーツインストラクター
- ・保健体育の先生
- ・スポーツ用品メーカー
- など